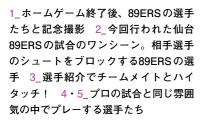


プロバスケットボール選手をプレーで応援

仙台 89ERS ホームゲームが白石で開催!













 月8~9日の2日間、プロバスケットボール(bj リーグ)の、仙台89ERSホームゲーム(信州ブレ イブウォリアーズ戦)がホワイトキューブで行われました。 白石での仙台89ERSホームゲームは平成19年に初開催。平 成23年3月22・23日開催予定だった2回目のホームゲーム は、東日本大震災の影響で中止になり、今回が2回目の開 催となりました。仙台89ERSのチームカラーは黄色。選手 たちは本来、黄色のユニホームで試合を行いますが、この 2日間は震災復興を祈願した黒のユニホームで登場し、被 災地である白石に元気を取り戻してもらいたいと、全力の プレーで観客にエールを送ってくれました。

2日目の3月9日には、選手たちをエキシビションゲ ームで応援しようと、白石市と福島県伊達市の小中学生 選抜が対戦。この試合は、小学生の男女がそれぞれ7分 間、中学生の男女がそれぞれ10分間プレーしました。白 石選抜はトータルスコア31-74で負けてしまいました が、プロの試合と同じ雰囲気の中で試合を行い、貴重な 経験を積むことができました。エキシビションゲームに 出場した小学生の選手は、「プロが試合する場所でプレ ーできて、とても良い経験ができました。プロの選手の プレーを間近で見ることができて良かったです」と、充 実した表情で話していました。

のぼり旗で温麺をPR!

毎月7日は白石温麺の日

3 月の市議会で可決された「奥州白石温麺振興条例」 で、毎月7日が温麺の日となってから初めての4 月7日、温麺の消費拡大に向け、すまiるひろばで出陣 式が行われました。この日は、奥州白石温麺協同組合の 組合員など約20人が参加。同組合の吉見理事長が、「市 民の皆さんと協力して、白石独自の食文化である温麺を 全国の皆さんに発信していきます」と抱負を話しました。 その後、温麺を提供している飲食店や製麺会社など約20 事業所を訪問。のぼり旗を配り、協力を呼び掛けました。

※4月号まちかどプラスの市民綱引き大会で、小学生の部で優勝したチーム名が誤っていました。正しくは「深谷小ゆかいな子どもたち」です。お詫びして訂正します。

非常時に備えて 日ごろの訓練の成果をお披露目

平成26年度春季消防演習





1_白石川に向かって一斉放水 2_訓練を前 に通常点検を受ける団員たち 3 38年の長 きにわたり貢献された髙橋副団長 4_白石・ 越河・斎川・小原の各分団が素早く力強いポ ンプ操作を披露 5_出動に備えてポンプ積 載車の機械器具点検を行う団員たち







月13日、「平成26年度白石市消防団春季消防演習」 を白石市緑地公園で行いました。演習には白石市 消防団(跡部敏団長)の8分団から620人の団員が参加。 通常点検や部隊訓練のほか、機械器具点検、ポンプ操法、 分列行進などを行い、本番さながらに訓練を繰り広げ、 日ごろの訓練の成果を披露しました。

風間市長は、「昨年4月には瞬間最大風速34.2mと、 観測史上最大の暴風を記録。また、今年の2月15日には 積雪57cmと、観測史上最大の積雪を記録するなど、本市 にとって記録的な1年となりました。白石市消防団が長 年にわたり培ってこられた高い消防力を堅持し、市民の 安全・安心な生活を確保するため、より一層精進される

よう期待します」とあいさつしました。

跡部団長は、「災害は、いつ起こるか分かりません。白 石市消防団は、日々知識と技術の向上に努め、安心・安全・ 確実な消防団を目指しています。火災ゼロになるよう、信 念に基づいて消防団活動に力を注ぎ、これまで以上に市民 に愛される消防団になりましょう」と団員に訓示しました。

この日は、38年の長きにわたり地域と消防団のために 活動してきた髙橋鉄夫副団長が4月30日で退団すること から、演習の最後にあいさつ。「市民・団員自身の生命・ 財産を守るため、今の知識や技術に満足することなく、 向上心を持って、知識と技術を磨いてください」と、団 員たちへエールを送っていました。



1 津軽三味線奏者の小野越郎さん 2 ピアノ弾き語りの佐藤美佐 子さん 3_キューブ合唱団

春一番! 桜・夢フェスタ

~歌え鍵盤・響け大太鼓~

4 月10・11日、「春一番! 桜・夢フェスタ」(春一 番! 桜・夢フェスタ実行委員会主催) がいきい きプラザで行われました。このイベントは、沢端川沿い の魅力を発信しようと昨年から開催。満開の桜の木が入 口で出迎えるいきいきプラザの一室をライブハウスに見 立て、市内外のミュージシャンなど9組が特設ステージ で歌や演奏を披露しました。また、絵手紙やレコードジ ャケットアートなどの作品展やブラジル料理などが販売 され、訪れた人を楽しませていました。